

みうらトーク&トーク 第10弾（待合型）

日 時 平成19年3月26日（月） 15時00分から16時00分

場 所 健康ぷらっと健康教育室
（三浦合同庁舎2階）

参加者 市民13名 市側 7名

テーマ 市民の健康増進について

内 容

- （1）資料に基づき説明（健康づくり課）
- （2）意見交換



市 長 健康診断受診率は、国民健康保険加入者が11,800人いて分母となります。

サラリーマンは、社会保険ですので対象外になります。

国民健康保険加入者は、多分健康に自信があるか、行くのが面倒なのかで足が遠い状況が顕著に現れています。

そのほかに、病院の話しをさせていただきます。市立病院は、現在、医師不足で深刻な状況になっています。4月からはお産の受付ができなくなります。これは、産科、小児科の先生が全体の医師不足の波を受けているからです。産科の先生が一人、小児科の先生が一人で、今までは、産後、1週間くらいは、産科の先生に診ていただいていたのですが、最近では、生まれて直ぐに小児科の先生が診るようになっています。小児科の体制がしっかりしていないといけない状況になっています。

横浜市大から19名医師の派遣を受けており、平成19年度からは、もっと少なくなります。これは、三浦市だけでなくどこも同じ状況です。ただ、救急体制については、何とか維持出来る形が取れています。

これからも医師の派遣については、全力で働きかけを行っていきます。

市立病院の医師不足の状況をご理解願います。

市立病院で人間ドックを行っていますが、結果の中に前年度の結果が分かるものが掲載していない状況なので、今後、データベース化し、良いものにしたいと考えています。

本日は、三浦市の健康増進について何でも結構ですのでみなさんからご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

市 民 資料のなかで保健衛生委員の話がありましたが、実際にどのような働きをしているのか教えてください。ほかに須坂市に行った研修の内容について教えてください。

市職員 保健衛生委員は、各区から2名から6名を出していただき委嘱をしています。その保健衛生委員さんに市民まつりや歯のフェスティバル等のイベント時にボランティアで出席していただいています。その他には、保健衛生にかかる部分については、保健衛生委員さんを通じて区に配信をお願いしています。須坂市は、活動をかなり活発に行っていますので、体制づくりやまだ三浦市では行っていないことが分かったりしたことで今後の活動に生かすことが出来た研修だと思っています。

市 長 保健衛生委員さんが中心となり地域で活動をしています。一般の方にはなかなか見えない部分もあると思います。須坂は、さきほど話しがあったとおり活発に行っていて、見えている部分もあるので、今後は、三浦市もみなさんに見えるような活動を行っていきたく考えています。

市 民 平成19年度は、具体的に何か考えていますか。

市職員 平成18年度は6月に委嘱で、10ヶ月しか活動期間がなく、もう少し前倒しの委嘱日を出来ないかという声がありましたので新年度から5月の初めに委嘱式を行いたいと考えています。

内容については、今後、検討し、目にとまるようにしていきたい。

市 民 地区によっては、役員が選ぶところと、それと関係なく選ぶところがあります。私の地区は、役員の中から選ばれています。ほかの地区では、衛生委員独

自のものをだしています。活動は、血圧測定などいろいろ行っています。

市 民 三浦市民等で健康増進について考えて行っているのは分かるのですが、それは見る方が見る気があって見ているように感じます。健康診断は、40歳以上です。ただ、健康は40歳になってから気にするものではなく、20代、30代から気にするべきものだと思います。今、メタボリック症候群も騒がれていますが、若い人は、なかなか関心がないように思えますので、保健衛生委員さんを通じて各区に応じた啓発活動も必要だと思います。たとえば、幼稚園のお母さんやPTAに保健衛生委員さんを中心に何かをやるということもひとつの方法としてあるのかと思います。

市 長 PTAでそんな話がでますか。

市 民 役員の体質によると思います。子育てに追われていることもあります。なかなか呼びかけしても集まらない。

市 民 子供さんの健診の際に、お母さんも一緒に健診できればよいと思います。

市職員 1歳6カ月や3歳児の健診の際、保健師がPRして血管年齢測定器を持参し取り組みをしているところです。学校保健大会でも保護者の方が来られますのでその時も測定器を持参し、行っています。

市 民 今後もし是非、幅広く行って欲しい。

市 民 歯の健診は、お母さんも必然的にやってくれていると思う。

市職員 無料で歯科健診を行っています。

市 民 なかなか行けないので、健診時に母親も義務化することも良いのではないかと思います。

市 民 先ほど、健康診断の受診率の低い原因がわかっているといっていたので、そこをターゲットに受診しやすい方法を考えれば良いのではないかと。

市 長 実際に行っているが効果が出ない。農協や漁協へ直接話しに行っています。

市 民 男性より奥さんに啓発すれば良いと思います。

市 民 受診率には、人間ドックも入っていますか。

市職員 人間ドックは、入っていません。国民健康保険加入者は、約18,000人のうち内科系で医療機関に受診している人を除いています。国民健康保険の人間ド

ックを受けている人は、年間、約600名いますのでこちらも除いて割りかえずと受診率の数字になっています。

市 民 社会保険の受診者はどれ位いますか。

市職員 2から3割いられると把握しています。

平成20年度から制度が変わり、保険者責任となり国民健康保険は、市が義務的に行うようになります。

市職員 健診で早期発見、早期治療をすれば医療費は、減ります。

国は、受診率80%を目標に行えば、医療費抑制になると判断しています。

健診のお金は、数千万円ですが医療費は何十億円もかかっております。

三浦市の国民健康保険事業会計では、約60億かかっています。

市職員 地域で一人ひとりがしっかり健康の大切さを知っていただきたい、そうしないと自分達の医療費をどんどん払わなければいけないし、市の負担も増えていくということです。

市 長 日頃から自分の健康に気をつけていくことで、医療費の抑制につながると思います。

市 民 そのことをお互いに知恵を出し合わなければならない。

市職員 現状では企業は、毎年行うように義務付けられています。国民健康保険は、義務付けまではしていません。最終的に自己管理になります。市もさらに啓発活動をしていかななくてはならない。

市 民 具体的に市は、何か啓発活動を考えていますか。

市 長 保健師が実際に活動をしていますので、健康意識を理解していただけるひとりでも多く市民を増やしたり、保健衛生委員さん自身にも勉強してもらったりしています。

先日も、今回と同じようなテーマで保健衛生委員さんに集ってもらい、どうしたら良いかという議論をしました。また、毎月、三浦市民で健康ぷらっとのページを1ページとっています。他にも何か出来ることがあれば少しづつでも行っていきたいと考えています。

市 民 私は、保健衛生委員をやるようになってから三浦市民がくると隅々まで見るよ

うになりました。皆が三浦市民をみているのか。

市職員　長野県は、全国でも一番医療費が安い。須坂市は、委員さんがきめ細やかで地域に根付いて活動を行っています。先ほども少し話しましたが、視察に行って保健衛生委員さんが何か自分達が動かなければならないという気持ちをもってもらったと思っています。

区長さん達に区民会館等を健康のために使わせてもらいたいという願いもしてあります。

市　長　地域活動は保健衛生委員さんがカギになります。さきほど話がでましたが、若い人たちの参加がしてもらえればと思います。

校長会に言って各学校から強制的に2名出してもらうとかやってみてはどうか。

市　民　PTAをもっと使っても良いと思います。特に小学校のPTAの方にももっと参加してもらおうと相乗効果がでて良くなると思います。

市　民　三浦市の保健師さんは一生懸命だと思います。

力を借りてやったら良いと思います。

市職員　たとえば保健衛生委員さん1人が3名に声をかけて、受診すれば3%上がります。県内の平均受診率に追いつけるようにさらに知恵を出していきたい。

市　長　市民の方にいかに理解してもらえるかという手段としては、若い方の参加や子供さんの健診時にお母さんも受診してもらおうことだと思います。

効果を目に見えるように職員には指示しています。たとえば健康ぷらっとを設置して受診率や健診者の人数が上がった等、内容がわかるものを出すようにしています。お金がかからなくても出来ることもあると思いますので今後も継続して取り組みをしていきます。アンケートもやっていますので結果も公表していきたいと考えています。

市　民　市から出る広報紙にしっかり目を通してもらうにはどうしたら良いか考えた方が良いと思います。

市　長　私が就任した当時は、予算を切るために2色刷りになっていたが、やはり見る方のことを考え、現在は、表紙と裏表紙は、カラーにしています。中身ももっと見易くするように担当の方でも研究しています。

市 民 三浦市民に民生委員の俳句が載っています。私は、楽しみにしています。

そのほかに健康の市のキャッチフレーズや健康について防災三浦で放送が出来るれば良いと思います。

市 長 献血のお願いは、行なっています。ただ、防災三浦は、年中やると耳になれてしまい耳に入らなくなると言うこともあります。

市 民 三浦市民を見れば分かるが、意識のない人はなかなか見ない。こまめに声かけ運動をしたらどうか。

三浦市は、狭い地域なので声を掛ければ何人かに一人は健康意識が高まると思います。

こまめに草の根的な運動として構えない気持ちで声かけをしたらどうか。

市 長 保健衛生委員さんは、報酬がありません。活動費としての予算のみでボランティアで行ってもらっています。今後も継続して行っていけるようお願いしていきます。

市 民 お金がかかっても大事だという部分に関しては、啓発的なものを行ってほしい。

市 長 市の悪いところで、文書を出せばそれでやったという感覚があるのでそこは、直していきたいと思います。

市民の健康を守るために一緒に行動をお願いします。

事務局 これでトーク＆トークを終了します。